

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 20障害者施設費

◎通所更生授産施設の経費

はまなみ運営事業

【 障害者福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 知的障害者

意図 知的障害者の更生に必要な日常生活訓練及び職業の提供等を行い障害者の自立更生を支援するため。

効果 知的障害者の社会性の向上を図る。

【事業の内容】

(1) はまなみ運営事業

- ・鎌倉はまなみの効率かつ効果的運営を図るため、施設の維持管理及び運営を指定管理者に委託した。

(施設名)鎌倉はまなみ (所在地)鎌倉市由比ガ浜2-3-11 (施設概要)知的障害者更生施設 定員30人 知的障害者授産施設 定員25人

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
43,723	43,723	43,638		85

主な支出内訳

・はまなみ運営事業

鎌倉はまなみ指定管理料

43,576

下水道使用料負担金

62

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 「鎌倉はまなみ」は、平成18年度からさらに民間活力を活用し、経費の節減を促すため、指定管理者制度を導入した。利用者の意向をふまえ、より効率的、効果的な福祉の増進を今後も図る必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 「鎌倉はまなみ」は、在宅における知的障害者の日常生活訓練・作業訓練の場として、市民ニーズは高く、地域福祉援護の拠点として機能している。指定管理者制度を平成18年度から導入し、さらに民間活力を活用し、経費の節減を促し、より効率的、効果的な福祉の増進を図った。利用者の意向をふまえ、より効率的、効果的な福祉の増進を図った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 施設の老朽化に伴う設備改修についての事業計画の策定及び必要な財源の確保が求められる。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 18年度から指定管理者制度を導入し、引き続き効率的、効果的な福祉の増進が図られるよう利用者等への意向調査を実施し、今後も適切な事業展開を行っていく。施設の老朽化に伴う設備改修についての事業計画の策定及び必要な財源の確保が求められる。今後、第1期指定管理者業務委託契約期間が終了する22年度以降の事業委託のあり方について調査・検討していく

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	引き続き指定管理者制度を実施し、鎌倉はまなみの効率的運営及び施設福祉の充実、利用者のサービス水準の向上を図る。施設の老朽化に伴う設備改修についての事業計画の策定及び必要な財源の確保が求められる。今後、第1期指定管理者業務委託契約期間が終了する22年度以降の事業委託のあり方について調査・検討していく				
担当課長氏名:	障害者福祉課長 茶木 和夫				

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	経費の節減を図り、効率的・効果的な指定管理者業務運営を実施していく。				
担当部名	健康福祉部	部長名	石井 和子		